

# 玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会 ☎075 - 432 - 3261

2020年11月②号

## 京都こども文化会館が閉館しました。

11月13日、京都市と京都府が共同で運営してきた「京都こども文化会館（エンゼルハウス）」に閉館案内の通知文が貼られ、17時に最後のからくり時計の音楽が流れた後、電源が止められ、17時7分で時計も止まりました。会館の前に立たずみんなだか、切なく寂しく、そして悔しい思いになりました。

日本共産党は閉館することに反対の議論をしてきました。子どものために作られた会館をなぜ、閉じなくてはいけないのでしょうか。施設が老朽化するのとは当たり前です。改築したり、場合によっては建て直すことも検討すべきだと思います。

存続を願う皆さんから、京都市と京都府に3500人を超える署名が集められ、提出されましたが、残念です。

しかも、こども文化会館は設置条例がないため、廃止のための議案がなく、議会本会議で議決して決めることがなく、閉館が進められました。継続を求める方々が、京都府や京都市に、なぜ、廃止なのか。廃止を決めた会議録の情報公開を求めても、「廃止の決済書類は存在していない」という回答を京都市は行っています。廃止へのプロセスが限りなく不透明です。

子どもの時に生の演劇や人形劇、音楽に触れることは豊かな人生をはぐくむためにも必要です。そもそもそんな役割が京都こども文化会館が施設として、児童文化の拠点となることが求められるのだと思います。



17時7分で止まった時計の京都こども文化会館

問題のある個所は改修し、再開をすべきだと思います。

## 食材提供プロジェクトに反響 in 鷹峯

全国各地で大学生などを対象に食材を提供する取り組みが進められています。北区には大学が4つあり、大学近くの地域でプロジェクトチームが発足され、取り組まれています。11月15日には佛教大学から北に位置する鷹峯公園で、開催され、案内ビラを見た学生さんが約100人ほど訪れ、「助かります」とレトルト食品やお米などを選び、喜びの声や「アルバイトが見つからない」「リモート講義はやりにくい」「友達ができない」「学費が高すぎる」など切実な声が寄せられました。玉本市議や浜田府議、こくた恵二衆議院議員も激励に伺い、アンケート活動などに取り組みました。

10月に御園橋通りで実施して、参加された学生さんが今度はボランティアとして参加しておられ、活動の広がりが嬉し



学生アンケートや実態を聴く玉本なるみ市議（左から2番目）

いばかりです。高い学費をせめて半分にしよう国が助成を増やすこと。給付制の奨学金を拡充することなど、政府や自治体で取り組むように求めて行きます。

## つぶやき：「年越しできるのか」不安の声

新型コロナウイルス感染による影響は深刻さを増しています。「お客さんが来ない」「売上が上がらない」などなど・・・しかも、感染者は京都でも増えてきています。空気が乾燥し、ウイルス感染が広がる可能性が高い季節、市民の皆さんはできる限りの努力をされています。これまで政府が行ってきた「持続化給付金」や「緊急小口資金」などをもう一度、適用してほしいという声も強まっていますが、政府は新たな提案を現在行っている臨時国会では示していません。このまま、年末まで手を打たないということはとても問題だと思います。

## アンテナ

### ウイングス京都の取組み

ウイングス京都とは、京都市男女共同参画センターで、京都市が男女共同参画推進協会に管理を委託し運営されています。

先日は日本共産党京都府委員会に新たにできた「エンダー平等委員会」のちさか拓晃責任者とたけやま彩子事務局長、加藤あい市議と一緒に、懇談をしました。

最近では、学生さんと一緒に「性的同意」やホワイトリボンキャンペーン・ジャパン (https://wrcj.jp/) など、ボクらは誰も傷つけない」など、先進的なパンフレットを発行されています。京都市男女共同参画センターのホームページからも見れます。

性の多様性を認めることの取組も徐々に進んでいます。しかし、やはり女性の働き方や賃金格差の問題が解決されないと性の多様性への理解が進んでも、生きにくさは解決しません。両方の取組が必要だと実感しています。ただ、先のようなパンフレットが作成されることは素晴らしいと思います。

## ウイングス京都 GENDER HANDBOOK

ジェンダーハンドブック

必ず知ってほしい、とても大切なこと。

## 性的同意



この冊子は、環境の大学生有志（仮称）京都市男女共同参画推進協会の協賛で作成しました。企画やデザインについては関係も無い。著：東京大学教養学部京都市男女共同参画推進協会。2020年11月13日現在。

